学校番号	３０１

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典B(文型)	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「精選古典B」（三省堂）						
副教材等	「読んで見て覚える重要古文単語３１５」(桐原書店)、「読解を大切にする体系古典文法八訂版」(数研出版)、「必携新明説漢文」(尚文出版)、「新訂国語図説」(京都書房)、「完成古典３」(尚文出版)、「大学入試　国語頻出問題 1200 四訂版」（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭学習では、まず音読をし、予習をすること。
・古典作品に興味を持ち、書かれている内容を自分なりに解釈し、人生に生かしていくような気持ちで取り組もう。
・提出物は期限を守ること。期限を過ぎたら受け付けない場合がある。
・授業に必要な教科書類は毎回必ず持ってくること。

2　学習の到達目標

・単語や文法を覚え、自分で現代語訳できる力を身につける。
・国公立大学、難関私大の入試に対応できるだけの学力を身につけるとともに、古典作品を通し、日本文化や中国文化への理解を深め、自己を豊かにすることを目指す。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	近世以降の作品の特性などについて理解し、知識を身に付けている。 漢文の訓読について理解を深める。
主たる評価方法	取り組みの観察 記述の点検 （ノート、ワークシート、テキスト） 提出物	記述の確認及び分析（ワークシート、テキスト） 定期考査	取り組みの観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

4　学習の活動

	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	【古文】	【随筆】 「枕草子」 【俳文】 「野ざらし紀行」 など	○	○	○	a:文章に描かれている状況を読み取り、人物の心情を表現に即して読み深めようとしている。 :句と文章が一体となった独特の表現を読み味わおうとしている。 b 文語文法のきまり、古文単語を理解し、現代語訳ができる。 c: 俳文の特徴を理解している。	a:取り組みの観察及び記述の点検 b・c:記述の確認及び定期考査
	【漢文】	【逸話・史話】 「説苑」 「戦国策」 など	○	○	○	a:我が国の言語文化が、中国など外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 b:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 c:訓読のきまりを身に付けている。	a:取り組みの観察及び記述の点検 b・c:記述の確認及び定期考査
2学期	【古文】	【物語】 「源氏物語」 「大鏡」 【日記】 「紫式部日記」 「蜻蛉日記」 など	○	○		a:文章に描かれている情景を、文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 b: 文語文法のきまり、古文単語を理解し、現代語訳ができる。	a:取り組みの観察及び記述の点検 b:記述の確認と分析及び定期考査
	【漢文】	【歴史】 「史記」 【漢詩】 「長恨歌」 など	○	○	○	a:漢文に描かれている人物の生き方・考え方を通して、人間の生き方やあり方について思索を深める。 b:漢文特有のリズムや表現の美しさを味わいながら読む。 c:訓読のきまりを身につけている。	a:取り組みの観察及び記述の点検 c:記述の確認及び定期考査
3学期	【評論・随筆】	【評論】 「無名草子」 「無名抄」 「風姿花伝」 「去来抄」 など	○	○	○	a:文章から作者の意見を読み取り、それに対する自分の見解を持つ。 b: 古典のさまざまな文章を読み比べ、伝統や文化について理解を深める。 c:評論の形態や特色について理解している。 正しく使いこなせる古文単語が増えている。	a:取り組みの観察及び記述の点検 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 読む能力　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。